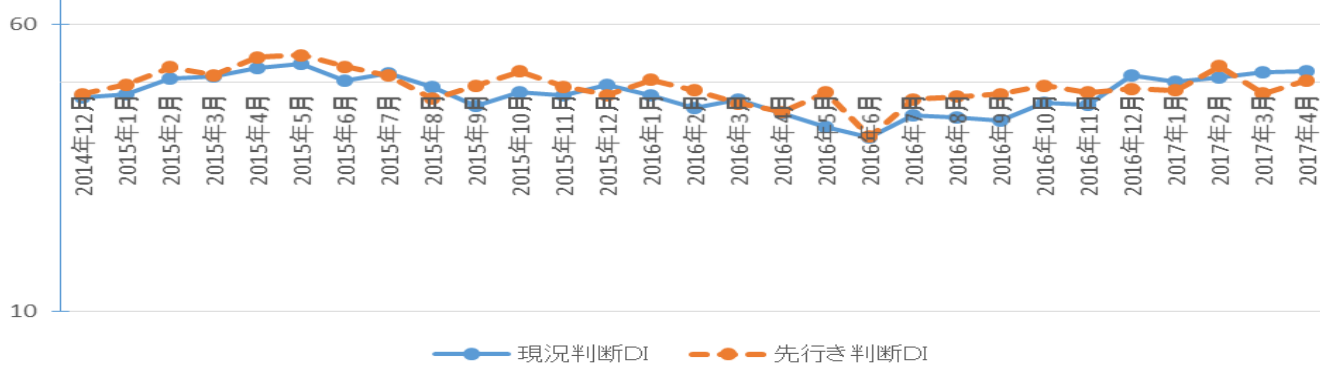


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2017年4月 景気判断理由 一部抜粋

		分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《来客数の動き》4月前半は、新学期や入学式等、新生活の準備をする人が多く、来客数、売上共に増加している。【美容室（経営者）】	
		不変	《お客様の様子》街中を歩く若者は増加しているが、高齢者は、出歩くのは昼間だけであまり金を使わない。この状況がしばらく続いている。【観光名所（案内係）】	
		やや悪	《販売量の動き》例年4月は歓迎会等で飲食の機会が増え、飲食店のアルコール消費が伸びる時期であるが、今年は来客数に比べてアルコールの消費が少ないという飲食店が多い。飲食店では若い人のアルコール離れが年々進んでいる。【一般小売店〔酒類〕（経営者）】	
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》4月に入ってから1日当たりの荷物量が前年同期を上回るようになっており、3か月前と比べるとやや上向きである。【輸送業（エリア担当）】	
		不変	《受注量や販売量の動き》マンション、戸建住宅共にほぼ順調な推移であるが、年度末を過ぎてから、モデルルームへの来場者数がやや減少している。【建設業（経営者）】	
		やや悪	《受注量や販売量の動き》案件が多くない状況で原材料が値上がりしており、利益確保が厳しい。【金属製品製造業（従業員）】	
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》管内の主要産業を始め、物流や飲食サービス等、多くの業界で求人が増える一方、求職者は減少している。【職業安定所（所長）】	
		不変	《求職者数の動き》求職者は、事業主都合、自己都合共に、前年同期比で減少しているが、在職者や無業者の求職は増加している。有効求人倍率が5か月連続で2倍を超えており、人手不足感が強まっている。【職業安定所（職員）】	
		やや悪		
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性	
	家計 動向 関連	やや良	全社キャンペーンに加え、エリアでの企画と商品開発を継続的に実施している、ファーストフード総業の夕方・夜間の品ぞろえを強化することで一層の改善が期待できる。【コンビニ（エリア担当）】	
		不変	夏のボーナスの時期となるが、大手企業や公務員を除く8割くらいの勤労者はボーナスが増えない。社会保険料等が高くなり、むしろ手取り額は減るため、家計の消費は伸びない。【スーパー（経営者）】	
		やや悪	4月からの増税も影響し、必要最低限の買換え客しか見込めない。工場への入庫も、車検対象台数が少ないため、いかに効率よく入庫に結び付けるかが重要となる。しばらくは楽観できない状況が続く。【乗用車販売店（従業員）】	
	企業 動向 関連	やや良	新規開発の依頼が増えており、4月末からは受注も増え始め、若干だが回復の兆しがある。【窯業・土石製品製造業（社員）】	
		不変	企業のネットワーク関連の設備投資意欲は上向きであるが、業界では受注獲得競争が厳しく、獲得しても適正な利益がなかなか得られない。【電気機械器具製造業（総務担当）】	
		やや悪	消費量が全体的に減っている。企業、家計共に、支出が厳しい状況である。【食品製造業（営業担当）】	
	雇用 関連	やや良	人材確保、雇用維持のため、小幅ながら企業の賃金改善への取組が進みつつある。ベースアップ実施の効果もある。【職業安定所（所長）】	
		不変	事業所によって好不況の差はある。若干の人手不足感はあるが、景気の悪いところは相変わらず悪く、まだまだ厳しい。【職業安定所（職員）】	
やや悪		改正労働契約法が5年、改正労働者派遣法も3年たつことから、派遣先での直接雇用化が進む。派遣会社としては、コストの増加と売上の減少が見込まれる。【人材派遣会社（社員）】		